

G20 教育大臣宣言のポイント

<序文>

- 今後の世界の持続的発展、特に SDGs の達成に向けた教育の役割の重要性を強調。包括的で平等な教育の確保と生涯学習の促進に取り組む。

<教育とスキル政策>

- 社会の変化や AI、ビッグデータ、IoT 等の技術革新に対応した教育が重要。経済や労働市場の変化は教育や訓練のシステムに大きな影響を与える。各国や地域ごとの多様性を踏まえつつ、あらゆる教育段階のカリキュラムや教授法の開発には、新たな知識や 21 世紀型スキルが考慮されるべき。カリキュラムや教授法は、エビデンスに基づく実践や将来の雇用の動向、主要な関係者との協力によりデザインされるべき。
- 教師は教育に重要な役割を果たす。教職員には、デジタル・リテラシーや ICT スキルなど専門的能力の開発や教師同士のネットワークを通じた学びの機会の提供などのサポートが必要。教員の養成・採用過程や勤務環境、キャリアパスは、多様な背景を持つ者の中から、適格で質が高く熱意のある者を教職に惹きつけるようにデザインされなければならない。
- 我々は、学習者の教育を積極的に保障するため、適切な学習環境において、革新的な教育方法の活用を促進すべき。教育と学習者の生活や社会的背景との連関の強化が重要。また、家庭と地域の連携を促す。
- 幼児教育から初中教育まで、職業教育から訓練まで、いずれの教育段階においても円滑な移行が行われるようにするため、教育や訓練への入り口は複層的で柔軟であることの重要性を認識。フォーマル・インフォーマルを問わず、教育段階の移行時に学習者が直面する課題に対して、適切な政策、効果的な企画立案、進路指導等により対応しなければならない。
- エビデンスに基づく政策形成や、すべての人に平等な学びを保障するため、学習効果の総合的な評価方法を開発することの必要性を認識。さらに、評価システムは政策決定に有効に使われるべきであり、結果の正しい活用が重要。また各国間での好事例等の共有のため、既存の国際的な評価方法やデータの活用の重要性を認識。
- 男女平等と女性の社会的地位の向上に係る国際的な取り組みを歓迎する。すべての女性が安全な学習環境のもとで、包括的で質の高い教育に平等にアクセスできることが女性のエンパワーメントに不可欠であるとの認識を共有。また、STEM 分野に多くの女性が参加することを促す。

<教育のファイナンス>

- 質が高く、包括的な教育の実現及び全ての人に対する生涯学習の機会の提供のためには、国内及び国際的に適切な水準の教育投資が決定的に重要。
- 教育投資をより効果的かつ効率的に行うことの重要性を認識。ガバナンスの強化、管理、モニタリング、説明責任の仕組みがこの共通の課題解決に対する鍵。
- 国内及び国際的な教育ファンドは、学習効果、平等、社会的弱者等への支援の観点から優先的に配分されるべき。幼少期からの質の高い教育への投資は、個人の成長の観点からも、社会、経済発展の観点からも効果的。
- 既存及び今後提案される国際的な教育のファイナンスの枠組みの役割を認識。

<国際協力>

- 他国の経験、知見、好事例等の各国間での共有や、二国間、多国間、地域間での取組を発展させることで、国際協働や共通課題の解決への取組を強固にする。デジタルエコノミータスクフォースが開発したプラットフォームを通じた政策やプログラムの共有に取り組む。
- 教育の国際化を促進し、各国の法令や政策に従いつつ、資格や技術の国際的な認証や、教育や研究の質向上の観点から、学生、教員、研究者の流動性を高める。G20及び特に途上国との間における交換留学や奨学金プログラムの促進を支持。
- 他国や異なる宗教、文化、言語、視点を理解し尊重することが不可欠である。このため、質の高いオンライン・コミュニケーションや学校や大学間のネットワーキングを支援。さらに、教育機関間に共通する価値の共有を促進。

<今後に向けて>

- 我々は、各国の状況を考慮しつつ、この宣言の実現に取り組むとともに、別添1に示す教育とスキルに関する政策オプションを支持する。
- この宣言を2018年度のG20首脳会合に提出するとともに、来年2019年の日本議長下及びそれ以降において、協力を継続していくことに同意。